



社長のひとりごと…

わいわい倶楽部は、大切なお客様のために、わたしたち藤本工務店のスタッフがお伝えさせていただきますコミュニティ誌です。

『運をつかむ。』

”寝過ぎた～。”そもそもこれが運のつきはじめ？だった。元旦恒例の村人の顔合わせである。6:30分隣の人が誘いに来てくれたのだが、夢の中。結果、顔合わせには間に合わずであった。気を取り直し、これも恒例で岐阜まで新年のあいさつに走る。11:00必着であったが、心配した雪の影響もさほどなく、何とか間に合った。お節料理をたらふく頂き、お酒の酔いも手伝って、朝のしくじりは影を潜めていた。夕方帰路に着いたが、喉が渇き、コンビニで”アイス”を買い込む事にする。高速で長浜近くまで来た時、”渋滞12km”の表示が出るも、雪道は一般道より高速の方が安全と思い、渋滞突入と決め込んだのだが、実のところは、”12km渋滞”がどれぐらいのものかも感覚的によく分からなかった。ところが突入してみると、10mくらい進んでは止まりの連続で、ほとんど動かない。結果的に長浜から木ノ本まで3時間くらいかかる事となったのだが、事の重大さに直面したのは、1時間くらい経っての事。チラリホラリと路肩に車を止め、男性は立ち小〇をはじめめるが、無理もない事である。”女性は大変ですね～。”と言っていたのだが、コンビニで買った”アイス”が今頃効いてきた～。腹がグルグルと鳴り出し、もはや他人事ではなくなった。路肩に車を止めても立ち小〇のような訳にはいかず、恥ずかしいこともできない。ただ、最悪の場合も想定し、その時は道路脇のガードを飛び越え、用を足そうと腹は決まったのだが、真っ暗な上に高速道路。高架だったりしたら一貫の終わりである。これほど高速道路脇を観察しながら走ったのは後にも先にもこの日だけだと思われる。だが、理性が働くのも限界にきていた・・・と、その時、前方左方向に大きな車があり、人が並んでいる。何と移動式トイレだ！地獄に仏とはこの事で、こんなサービスがある事にも驚いた。何はともあれ助かったのであるが、一年分の運を使い果たしたような気がした・・・。

話は変わるが、プロゴルファーの石川遼君のコメントで”ここのプレッシャーはあるが、このプレッシャーを味わうために日々練習している”との事。言い換えれば、リスクやプレッシャーを引き寄せるために努力しているとも言える。常に目標を高いところに持ち続ける遼君ならではの言葉であり、恐るべし18歳である。

元旦から、運を使ったのか引き寄せたのかは定かではないが、いずれにせよ前向きな考え方ができれば、運もおのずと引き寄せられるに違いない。

ではまた、来月もお逢いしましょう。
今回も最後まで読んでいただき、



あーがしう ございまして!!

